

4 地区小体連のあゆみ

[1] 宮崎市小学校体育連盟

I 年間事業

予 定 日	曜	事 業 名	主 な 内 容	会 場（予定）	開始予定時刻
4 月 2 2 日	金	常任理事会	第 1 回理事会内容検討 研究内容、研究組織検討	生目台東小学校	15:30～
5 月 6 日 (教科等主任会)	金	教科主任会 第 1 回理事会	役員選出 事業計画	中央公民館	15:00～
5 月 2 0 日	金	常任理事会	水泳・泳力向上大会、陸上競技 大会検討 研究推進	生目台東小学校	15:00～
6 月 1 0 日	金	第 2 回理事会 (体育主任会)	水泳・泳力向上大会検討 研究推進（指導案検討等）	中央公民館	14:00～
水泳指導期間中		水泳記録測定	泳力指導と泳力調査	各学校	
7 月 末		泳力調査の提出〆切り		事務局・事業部へ	
7 月 2 6 日	火	令和 4 年度小学校体育地区別講習会		県総合運動公園 ひなた武道館	終日
8 月 2 2 日	月	第 3 回理事会 (体育主任会)	年間事業報告・研究部反省 事業部反省・次年度の計画	中央公民館	14:00～
1 1 月 1 6 日	木	第 6 3 回宮崎県学校体育研究発表大会 日向大会		サンドーム日向	終日
1 2 月 2 日	金	宮崎市小学校体育連盟授業研究会 第 4 学年 タグラグビー		宮崎市立広瀬小学校	13:30～
1 2 月 1 5 日	木	宮崎市小学校体育連盟授業研究会 第 6 学年 タグラグビー		宮崎市立加納小学校	13:00～
1 月 2 7 日	金	常任理事会	年間反省・次年度に向けて	生目台東小学校	15:00～
2 月 9 日	木	第 4 回理事会 (体育主任会)	年間事業報告・研究部反省 事業部反省・次年度の計画	中央公民館	14:00～

II 事業部のあゆみ

1 水泳競技の部

- (1) 大会名 第 3 回宮崎市小学校泳力向上大会（記録会）
- (2) 実施期日 令和 4 年 6 月～9 月（水泳指導期間中）
- (3) 会 場 宮崎市内各学校
- (4) 参加児童 宮崎市内各小学校 5、6 年生全児童（7 5 2 3 名）
- (5) 実施種目 ○ 2 5 m（自由形、平泳ぎ）○ 5 0 m（自由形、平泳ぎ）
- (6) 実施方法
 - 距離の部
 - ・ クロール、平泳ぎで 2 5 m、5 0 m を泳げた児童の割合
 - ・ 5 年の部、6 年の部で割合上位の学校に泳力大賞を授与
 - ・ 前年と比べて泳げた児童の割合が飛躍的に伸びた学校に授与する（今年度から）。
 - タイムの部
 - ・ 発展型の学習として、各種目男女 2 名ずつ、タイム測定し小体連が集約
 - ・ 1 0 0 分の 1 秒以下を切り上げて、1 0 分の 1 秒までの記録を提出する

(7) 反 省

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一昨年度は水泳学習が全て中止、昨年度は約半数の学校で水泳学習が中止となっていた中、今年度はほとんどの学校で水泳学習が実施された。そのような中、今年度は、上記のような計画で実施した。しかしながら、授業時数の確保の難しさなどもあり、タイムの部の記録の測定を実施した学校は約半数にとどまった。そこで、今回は記録の測定、提出を行った学校のみで記録の集約を行った。また、距離の部については、水泳指導を実施し、記録の提出ができた学校には記録証を配付したが、泳力大賞は設けなかった。

今年度、コロナ禍の中での水泳学習の実施の仕方についてある程度各学校とも掘めた部分があると思うので、来年度はより多くの学校で記録測定を実施し、この形式での大会の実施を児童にとって有意義なものにしていきたい。

2 陸上競技の部

⇒新型コロナウイルス感染拡大防止の為、昨年度同様、一堂に会しての大会は行わず、各学校の実態に応じ、可能な範囲で選手種目を実施。また、選手種目にエントリーされなかった児童については以下に示すルールのもと各学校にて一般種目を1種目実施することとした。

(1) 選手種目

① 種目

- 「100m走」「50mハードル走」「走り幅跳び」「走り高跳び」「ソフトボール投げ」「男子1000m走」「女子800m走」

② ルール

- 基本的には一斉開催の時と同じルールだが、各学校の実態があるため、100m走は必ずしも直線でもなくてもよいこととした。
- 走種目については、県標準記録認定の関係上2人で測定し、遅い方の記録を採用することとした。

(2) 一般種目

① 種目

- 「80m走」か「50mハードル走」の2種目から、各学校でいずれか1種目を選択して実施。

② ルール（共通実践事項）

- 「80m走」
 - ・ スタンディングスタートで行う。
 - ・ 距離は80mとする。
- 「50mハードル走」
 - ・ スタンディングスタートで行う。
 - ・ ハードルの台数は5台で行う。
 - ・ 距離は50mとする。

③ 表彰

- 各学校で記録を測定した場合、記録証を配付する。

(3) 反 省

本年度も、一堂に会しての陸上大会は実施しなかったものの、各学校で一般種目、選手種目の実施ができた。昨年度と同様に実施することができた為、少しずつ各学校で測定し、記録を提出するという流れが定着してきたと思われる。しかしながら、今年度も各学校によって実施方法に差があり、6年生児童の意欲の差にも繋がるとと思われる。そこで次年度は、今年度の各学校での実施方法など情報を共有し、できる限りどの学校の6年生児童も意欲を持てる大会にしていきたい。